



10月の中頃になってきました。前期期末考査の答案返却も終わり、まもなく、前期の成績が確定します。まだ、折り返し地点。一喜一憂せず、前期での授業への取組み、家庭での学習状況を振り返り、ただ、「良かったor悪かった」ではなく、『何が「できて」、何が「できなかった」のか。なぜ、そうなったのか』振り返り、後期中間・期末考査での目標設定を行いましょう。

第7回

看護医療系特化型予備校ena新宿セミナー仙台校 校長 熊野さんより 「看護医療系受験から考える進路実現のための第1歩」

新企画の第7回は、新宿セミナー仙台校校長熊野さんより、看護医療系受験についてアドバイスを貰いましたので確認して下さい。(複数回掲載予定です。)

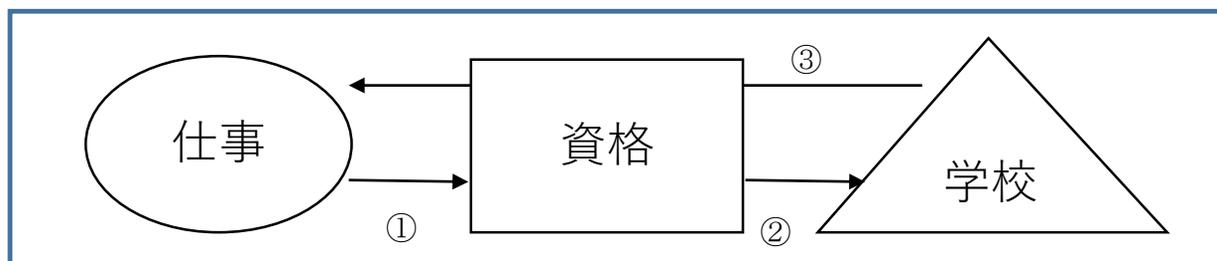
看護医療系分野への進学を希望している生徒のみなさんには、必見となります!

(1) 看護医療系の進路を選択することの意味

希望の進路を考えるって難しいですよ。特に看護医療系は職種がたくさんあってどれがいいか迷っている人も多いのではないのでしょうか?主だったところでも看護師、助産師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、歯科衛生士・・・どれがいいのか迷ってしまうところです。他の系統を志望している方も「誰を対象にするのか」「どこで働く仕事なのか」「どんな人が活躍しているのか」などの違いを調べておくことで「自分らしいな」「自分にはこれは合わないな」など自分の将来をイメージしやすくなります。



看護医療系の進路を選択する場合の特徴として、具体的な仕事内容が既にある程度イメージできているのではないのでしょうか?「看護師は入院患者のケアやサポート」「作業療法士は脳機能に障がいのある人のリハビリ」のように具体的に行う仕事からイメージして自分が目指す資格→学校と落とし込んでいくはずですが。(図の①)他の系統であれば「とりあえず〇〇大学に行って・・・」のように考えることもあります。どちらも進路選択としてはアリですが、特に国家資格が必要な進路であれば、国家試験の合格率や試験対策の充実度などを確認し、その**国家資格などが取りやすい環境のある学校を選択することが大切**です。(図の②)例えば看護師国家試験の合格率は約90%ですが、学校によって80%~100%と大きく幅があります。もちろん、毎年100%もしくはそれに近い率を出している学校であれば、その環境で学ぶことにより、看護師になりやすいということが分かります。



また、仕事につくためにはさらに就職活動が必要ですが、**自分のイメージしている職場に実際にその学校の卒業生が就職しているかどうか**は、よく確認しておきましょう。(図の③)例えば、小児科で働きたい看護師を志望している場合であれば、小児科のある総合病院への就職実績が多くある学校を選んだ方が希望の進路が叶えやすくなります。またスポーツ領域で活躍する理学療法士を志望している場合、実際にその学校の卒業生でスポーツ領域で活躍している先輩がいれば可能性は十分ありますが、そうでない場合は注意が必要です。

(2)大学・短大・専門学校の違い

看護医療系の志望者の方から受けるご質問の中で一番多いのが「大学・短大・専門学校の違いって何ですか？」です。取れる国家資格に違いはありません。では何が違うのでしょうか？
1点目は教育内容です。例えば看護系で一言で言うと

大学 →学問として学ぶ、同時に保健師や助産師の資格を取れる
専門学校→実務として学ぶ、卒業後に必要に応じて保健師や助産師の資格を取るために学校に通うのが主流

となります。看護医療系であれば、働く上で必要な知識や技術を得るのであれば専門学校の方がよいとされますが、大学は一般教養科目や卒業論文などを通じて幅広い教養をじっくり学ぶことができます。そして、首都圏では看護系でも大学卒が主流となりつつあります。

一方、専門学校はその仕事に必要な知識・技術を習得する場ですので、年数も短いケースが多いため忙しくなる傾向があります。

2点目は学費の違いが挙げられます。3年間と4年間の違いはあるものの、一般的に専門学校の方がトータルでかかる学費は安くなります。看護医療系のトータルでの平均値は

大学 4年間で500万～700万円
短大・専門学校 3年間で250万～350万円

となります。どちらも特に看護系は病院からの奨学金制度などかなり充実しているので、検討してみるのもいいでしょう。

そして**3点目として挙げるのは就職時の初任給の違い**です。例えばある大規模病院の大卒と短大・専門卒の初任給は

看護師(大学卒)206,400円
看護師(短大・専門卒)197,100円

となっています。ここに通勤手当などの諸手当(看護師で夜勤が始まればさらに夜勤手当)が加わります。勤務先によっても異なりますが、初任給ではおよそ月収で1万円ほどの違いが出ます。しかし、その後の勤務評価やキャリアアップなどで給与は変化していきます。

また、**就職先の違い**も出てきます。看護系であれば専門学校の多くは母体に病院・医療機関を持っている場合が多く、その母体の病院に就職する方が多いです。また、大学や短大であれば、自分の希望に合わせて就職活動を行っていくことになります。看護医療系だと雰囲気なども分かっており、安心ということを実習先にそのまま就職するという方も多くいます。

(3)希望進路実現へのアドバイス

まずは、**自分が興味がある仕事についてよく調べておくこと**です。具体的に言えば仕事のやりがい、大変さ、1日の流れを実際に目で見たり、聞いたり、体感することです。看護医療系であれば看護体験に参加することです。他の系統でも大学や職場などで見学会が開かれます。また、そういった機会がなくてもご親戚やお知り合いに希望する進路に進んだ先輩がいれば、話を聞くことで代わりになります。

もし、自分の進路が見つからない人は**「仮決め」でもよい**でしょう。「とりあえずで考えるこの大学に進むとこんな仕事に就ける」「今のところ進学を考えているこの専門学校で多く就職している企業ってどんなところだろう」仮決めでもその先を覗いてみると未来がイメージしやすくなります。

《現在発》→《未来行》

夢を叶えるためのチケットは、いつもみなさんの目の前にあります！

対価は《みなさんが日々、積み重ねた努力》アドバイスと結果・自分を信じて頑張り続けよう！